

## 世界遺産富岡製糸場の魅力を動態展示で伝えるポスター

富岡製糸場と絹産業遺産群は、2024年に世界遺産登録から10周年という重要な節目を迎えました。この記念すべき年にあたり、遺産の価値をより多くの方々に知っていただき、訪問者の増加を図るため、さまざまな取り組みが実施されています。

今から14年前、世界遺産登録を目指す富岡製糸場のPRに少しでも役立つとの思いから、壁掛け時計や日用品などの廃材を活用し、創業当時の富岡製糸場の繰糸技術やトラス構造などを再現した「立体ポスター」を制作しました。このポスターは完成後、富岡市役所や群馬県庁などで展示され、その後も「道の駅みょうぎ」の観光案内所で12年以上にわたり多くの方々にご覧いただけてきました。

しかし、長年の展示により、説明用のQRコードやレンガ壁の装飾などに劣化が目立つようになりました。そこで、世界遺産登録10周年を機に、この立体ポスターを大幅に改良し、新たな動作機能や制御装置を加えた、「動態展示ポスター」へと生まれ変わらせました。

現在、多くの場所でデジタルサイネージが広報媒体として活用されていますが、液晶ディスプレイ3D表現では得られない、静止画ポスターならではの簡潔さと直感性を活かしつつ、動きを融合させることで、よりインパクトのあるポスターに仕上げました。

今回の改良では、限られたスペースの中に、明治5年当時の横型単気筒蒸気エンジン（縮尺1：20）を製作し組み込みました。見学者や子どもたちが、フランス式繰糸器や原動力のエンジンの構造を理解し楽しめるよう、固定盤などはスケルトン構造を採用。エンジンの素材には、趣味で収集していたミニ四駆の部品などを活用し、可能な限り繊細な動きを再現。また、繭から生糸を紡ぐ工女さんの指先の繭の微細な動きは、生糸を取り出す「座繰り体験」からヒントを得て再現しました。

富岡製糸場には今なお、日産自動車が開発した「ニッサンHR型自動繰糸機」が残されています。明治5年の創業以来、日本のものづくりの礎を築いてきたこの世界遺産が、現在の日本を支える自動車産業などと深く結びついていることもポスターを通じて伝えたいと考えています。また、身近な素材や廃品を活用したものづくりの楽しさを子どもたちに体験的に伝えることも大きな目的の一つです。

動態展示ポスターからの呼びかけが、群馬の誇る世界遺産を訪れるきっかけとなり、一人でも多くの方にその魅力を伝えられたら幸いです。

なお、当ポスターは、群馬県立世界遺産センター（富岡市富岡1450-1）にて2025年2月から2026年3月末まで展示されています。

2025. 6. 3 社会保険倶楽部群馬支部

富岡製糸場世界遺産伝道師 齋藤 斎

ここから半世紀前

世界遺産 富岡製糸場と  
絹産業遺産群



富岡製糸場

当時の最先端技術で作られた製糸場！  
そこには日本の工業化の原点が息づいています  
ぜひ、その歴史を感じる旅に  
出かけてみませんか・・・

フランス式繰糸機

富岡製糸場には、改良を重ねられた繰糸機に使用された、  
日本産の絹糸が、現在もそのまま残っています



日本経済を支える自動車産業は、繰糸機や  
機械の技術から発展し、今も進化を続けている！

